



▲土山駅南側のイルミネーション点灯式

播磨町臨海管理センターが毎年カレンダーを作っています。28年1月には石ヶ池公園の蜷梅(ロウバイ)の写真が。黄色い花で、とてもいい匂いがします。今年も都市公園を彩る花々の開花時期が楽しみです。どうぞお出かけください。

ご健勝で、よいお年でありますように。
◆今年も土山駅南のロータリーにイルミネーションが設置され、夕暮れ時から夜中まで、道行く人や駅利用者を楽しませています。播磨町商工会が町内金融機関、各種団体や学校などにも呼び掛けられ、多くのご協力を得て、昨年同様実施されているものです。また、今年のデザインは明石高専の学生さんたちによるアイデアが生かされ、兵庫大学の学生さんによる司会、播磨南高校吹奏楽部の演奏など、みんなで盛り上げた楽しいオープニングとなりました。年明けの1月15日まで点灯していますので、ぜひお立ち寄りいただき、真冬のホットな「灯り」を楽しんでいただければと思います。すぐ横では、来年4月オープン商業施設「BiVi土山」の工事が急ピッチで進んでいます。
◆12月6日「こころふれあう町民のつどい」で、今年は講師に俳優の宇梶剛士さんをお迎えしました。宇梶さんは現在テレビや映画でご活躍されていますが、若かりし日には社会のルールから外れた生活を送っていた時代もあったということで、そうしたことも含めてこれまでの人生を赤裸々に熱く語っていただきました。また、俳優を志したきっかけとなったのが「チャップリンの自伝」であったということでしたが、改めて「ひと」や「本」とのであいが、人の生き方において大きな影響を与えるというものだということを教えられました。ご来場の皆さまとともに、大きな感動をいただいたご講演でした。さらなるご活躍をお祈りしております。

播磨町長 清水ひろ子



交通安全のつどいを実施しました

危機管理グループ ☎ 079 (435) 0991



▲曲がるトラックの巻き込みを实践

11月25日に播磨南小学校で、交通安全のつどいを実施しました。児童や保護者の交通安全のため、佐川急便・神姫バス・加古川警察署の方々にご協力いただき、自転車の乗り方講座や交通安全講話を通して普段の生活の中で歩行者や自転車運転者が何に気をつけたら良いかを学びました。

学習の後には、兵庫県警察音楽隊による演奏を楽しみました。



▲カッコいい音楽隊
◀ 運転席からの死角



安全・安心フェスタ2015が開催されました

危機管理グループ ☎ 079 (435) 0991

加古川市、稲美町、播磨町の企業、地域住民、警察、消防が一体となり、多くの住民に防火防災意識の高揚を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進することを目的に「安全・安心フェスタ2015」がグリーンプラザべふなごみ広場及び駐車場で開催されました。

センターステージでは播磨町消防団女性分団が啓発劇を行いました。



▲大人気の女性分団の啓発劇

他にも、住宅用火災警報器のアンケートコーナーにて播磨町連合婦人会の皆さんが活躍されました。

楽屋裏
播磨町の公式ホームページが、今年11月15日の午前中に非常呼集を実施しました。空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。午前9時30分過ぎに、町の防災行政無線にて非常呼集がかかると、分団の消防車15台が、続々と蓮池に到着し、合図に合わせて一斉放水を行いました。

ペーページが、今年11月15日の午前中に非常呼集を実施しました。空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。午前9時30分過ぎに、町の防災行政無線にて非常呼集がかかると、分団の消防車15台が、続々と蓮池に到着し、合図に合わせて一斉放水を行いました。

大遺跡まつりや、駅前の人形芝居など、多くのイベントが、今年11月15日の午前中に非常呼集を実施しました。空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。午前9時30分過ぎに、町の防災行政無線にて非常呼集がかかると、分団の消防車15台が、続々と蓮池に到着し、合図に合わせて一斉放水を行いました。

町の公式ホームページが、今年11月15日の午前中に非常呼集を実施しました。空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。午前9時30分過ぎに、町の防災行政無線にて非常呼集がかかると、分団の消防車15台が、続々と蓮池に到着し、合図に合わせて一斉放水を行いました。

平成27年度播磨町技能職者表彰が、3人の方に贈られました



▲池田さん(左)、阿部さん(右)

阿部 光義さん(北本荘) 電気工事業

昭和41年から電気工事一筋で、自営の阿部電工を開業されました。家庭などの一般電気工作物のみならず、工場などの自家用電気工作物の施工にも従事されています。その豊富な経験と知識は客先からも信頼され、同業者からも高く評価されています。今も現役で自らの技術向上に努める一方、若手との接点を持ち、次世代の技術者の育成・指導をされています。

池田 勝信さん(上野添) 左官

25歳の時に親方に弟子入りし左官の技術や知識を学ばれ、33歳の時に独立され、49年間左官の仕事に携わってこられました。仕事においては、今までに学ばれた技術や経験を活かし、お客さまや他の工務店からの信頼も厚く、50年近く左官の仕事が続けられている姿勢は、多くの職人の模範となるものです。

山本 義広さん(北本荘) エクステリア工

職人としてエクステリア一筋で腕を磨かれ、一般住宅の主に車庫まわりのカーポートテラスや門まわりなど、外構に付随した商品の取り付けを手掛けてこられました。傷やへこみなどに細心の注意を払うことはもちろんのこと、現場に合った様々な収め方に努められています。取り付けが困難な場合でも中には商品を加工してまで取り付け、要望に応じていらっしゃる。そのような常にお客さん第一に考え、その仕事ぶりから施主さんにも大変喜ばれています。

消防団非常呼集

危機管理グループ ☎ 079 (435) 0991

播磨町消防団は11月15日の午前中に非常呼集を実施しました。空気が乾燥して火災が発生しやすくなる季節を前に、消防団の訓練と住民への啓発を兼ねての訓練です。午前9時30分過ぎに、町の防災行政無線にて非常呼集がかかると、分団の消防車15台が、続々と蓮池に到着し、合図に合わせて一斉放水を行いました。



▲蓮池に向かって一斉放水

瑞宝単光章 危険業務従事者叙勲



本崎 忠彦さん(古田)

本崎さんは、平成14年まで、兵庫県警に奉職されました。

在職中は、主に警備課に所属され、姫路、県警本部、三木署などに勤務されました。

印象的な出来事をお聞きすると、「岩屋署勤務時に阪神淡路大震災が発生

した。警備課の担当として、多方面への応援要請に奔走した。約1カ月間自宅に帰ることはできなかったが、他府県警からの協力、自衛隊、消防との連携により、震災復旧の一助にはなれた」と当時を振り返られました。

退職後は、現役時代にもてななかった家族の時間と高齢者大学で趣味の園芸を楽しみながら、播磨町の安全を見守っておられます。

※危険業務従事者叙勲は、警察官、自衛官など、著しく危険性の高い業務に精励した人を対象にする叙勲です。

播磨町文化賞を贈呈しました

生涯学習グループ ☎ 079 (435) 0565



神吉 勇夫さん(本荘)

長年にわたり文化の継承と保存、また、文化の振興並びに向上発展に貢献された功績により、神吉勇夫さん(本荘)に播磨町文化賞を贈呈しました。

贈呈式は、11月8日に開催された播磨町文化祭の会場で行い、清水ひろ子町長から表彰状と記念品が贈られました。